



# 一本道

相良中学校通信No.32

令和4年12月13日

校長 吉田憲一

## 1 人権作文熊本県大会、奨励賞受賞作品 「男女差別の『かべ』」

12月5日～22日は、人権旬間です。全校生徒が、1学期末に1時間人権作文を書き、その続きを夏休みに仕上げました。そして、数点が学校代表として人吉球磨大会に進みました。そして、また数点が人吉球磨代表として県大会に進みました。その中で、本校の1年生椎葉もかさんの作品が「県大会奨励賞」を受賞しました。作品名は「男女差別の『かべ』」です。400字詰原稿用紙5枚に、自分の体験や思い、考えをしっかりと綴っていました。作品の導入部分とまとめの部分を相良中HPにて紹介しています。ご覧ください。

## 2 生徒代表発表「高校に向けて」(挑戦→続ける→幸福感)

12月8日、第5回生徒集会が行われました。今回は次の4つの内容でした。

- ① 生徒代表発表「高校に向けて」
- ② 長野先生の発表「2つの挑戦」
- ③ 体育委員会の発表「持久走のポイントをクイズで紹介」
- ④ 保健委員会の発表「換気の実験を3つのペットボトルで検証」

どれも工夫があり、引き付けられる発表でした。

その中から3年生杉本ふうが君の生徒代表発表を相良中HPにて紹介しています。ご覧ください。まさに「体験からの学び」の発表で、素敵でした。挑戦し、やり方を知り、やり続けることにより、心に「幸福感」が出てくる。これは、脳科学の面からも明らかになってきていることです。また、今回も、発表の心構え(「原稿なし発表」+「目線」)が良かったです。委員会の発表も含めて、発表力が確実に向上しています。



## 3 研究授業 特別支援学級(若葉学級) 数学「数と計算」

12月7日、特別支援学級(若葉学級)の数学の研究授業「数と計算」を行いました。

本時のめあては「かずを正しく数える方法を見つけよう」です。導入で動画視聴やブロック並べの操作学習を行いました。メインの学習では、4つの方法でかずを数え、どの方法が正しく数えることができるかを判断しました。黒木あきなさんはしっかり練習し、しっかり考え、しっかり伝えていました。成長を実感する時間となりました。



担任の鳴海先生は、「子どもファースト」の立場で、授業に、教室環境に、そして、子どもに向き合っています。特別支援教育は、まさに「教育の原点」です。

## 4 門松づくり、令和5年も素敵な年になりそうです。

12月10日、PTA役員の皆様が中心となり、門松を作っていただきました。テニス部、女子バレー部、吹奏楽部、野球部の生徒たちも手伝ってくれて、立派な門松が完成しました。

門松は、年神様が家へ尋ね入る目印だとされています。松竹梅が用いられますが、松は「一年中落葉しないから」、竹は「成長が早く生命力が強いから」、梅は「新春に開花し年始にふさわしいから」と3つの縁起物が用いられます。令和



5年も、相良中学校の全校生徒・保護者の皆様・職員にとって、素敵な年になりそうです。PTA役員の皆様ありがとうございました。

第3回学年PTA、多くの参観と懇談、ありがとうございました。



相良中HPへ